

2026-2027年度国際ロータリーのテーマ



持続可能な
インパクトを
生み出そう

2026-2027年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

気軽にロータリーを楽しもう

2026-2027年度岡山北ロータリークラブのスローガン

温故知新

2026～2027年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所／〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail: okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会会場／岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

例会日／毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2026.7～2027.6

会長	上野山	剛
副会長	馬場	幸
幹事	磯難	慈
幹事	波本	佳
会計	杉本	康
S.A.A.	堀川	洋
副S.A.A.	磯島	理
		恵

会員増強・退会防止(理事)
広報(理事)
奉仕プロジェクト(理事)
ロータリー財団(理事)
クラブ3年計画
親睦活動
プログラム
直前会長(理事)
次期会長

高橋 茂樹
中 賢太郎
關 和
渡 敏
橋 玲
平 行
永 一
高 己
橋 浩
田 行

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「旧ひな壇慰労&新会員歓迎夜間例会」

次回7月14日のプログラム

「就任挨拶」

会長 上野山 剛 会員
幹事 磯島 慈 海 会員

7月のお祝い行事

会員誕生日：高島、渡辺君

結婚記念日：牧本、松田、妹尾、正保、武南、滝沢君

前回6月30日の例会記録

出席の状況

会員数 52名(出席免除者0名 名誉会員1名)

出席者数 32名

欠席者数 20名

出席率 61.54%

6月ホームクラブ平均出席率 56.73%

ビジター

岡山ロータリークラブ	中大	島	範	久	様
岡山南ロータリークラブ	岡	岩	道	典	様
岡山南ロータリークラブ	岡	崎	世	作	様
岡山南ロータリークラブ	深	美		隆	様
岡山西ロータリークラブ	岩	居		博	様
玉野ロータリークラブ	西	岡		晃	様
岡山西南ロータリークラブ	内	山		三	様
岡山備南ロータリークラブ	河	口		一	様
岡山北西ロータリークラブ	樋	口		亮	様
				芳	様
				紀	様

スケジュール

7月 母子の健康月間

14日(火) 12:30～例会：就任挨拶①

21日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)

28日(火) 12:30～例会：就任挨拶②

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

4日(火) 第2回理事役員会

納涼ビア夜間例会

11日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)

18日(火) 12:30～例会：イニシエーションスピーチ

25日(火) 12:30～例会：クラブフォーラム(会員増強)
(訪問リハーサル)

第2690地区ガバナー補佐
大岩道典様

本日のメニュー：夜間例会特別メニュー

次回のメニュー：洋食

会長挨拶



皆様、こんにちは。本日も沢山の皆様に例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今期、「目の前にいる人を大切にしたい」との思いから、皆様と正対して共にロータリーソングを歌うスタイルとさせていただきました。

本日は大岩ガバナー補佐をはじめ、7名の同期幹事の皆様と岡山南ロータリークラブの深美隆様にお越しいただき、ありがとうございます。

私が39歳で入会した当初、当時の知り合いは、同業の団体で共に活動していた橋田さんだけでした。

そんな入会間もない頃、大塚さんがガバナー補佐を務められていた時に、第10グループや岡山RCなど、各クラブへ連れて行っていただいたことがありました。

牛窓RCへ訪問した際の事です。大塚さんの重くて大きなカバンには、さぞかしロータリーの歴史を語る立派な資料が入っているのだらうと思って持たせていただいております。しかし、到着して開けてみると、中には画集の束がぎっしり詰まっており、さぞありがたいお話をされるのかと思いきや、絵画の話で大いに盛り上がりおられるお姿に衝撃を受けました。

また、南クラブへ訪問した際には「ここはちょっとヤバイんよ」と言われながらも、粛々とクラブ協議会が進められる姿に臨機応変さを学びました。さらに、玉野クラブでの質疑応答で「ロータリーとは何なのですか?」という質問に対し、大塚ガバナー補佐は「なんだかんだと難しく言うが、結局のところ社交クラブなんだよ」と答えられました。

そのお陰で、私はすっきりとした気持ちでロータリークラブを楽しみ、他クラブのメンバーとも交流や人脈形成を深めることができました。会では、数多くの先輩や会員の皆様にお声がけいただき、仕事をさせていただく中で、しっかりと職業奉仕につながり、事業を発展させることができたのだと思います。

現在、ロータリーの目的は平易な言葉で、第一に「知り合いを広めること」、第二に「職業上の高い倫理基準を保つこと」、第三に「日々奉仕の理念を実践すること」、そして第四に「国際理解・親善・平和を推進すること」と記されています。

奉仕の理念で結ばれた皆様と共に、今日もこうして一緒できることで、私はようやくロータリーの目的が少し分かってきたような気がしております。そしてこれからは、第4の目的である「奉仕の理念で結ばれた私達が、世界的ネットワークを通じてロータリーの目的を推進する」ということを、今ここに強くイメージすることができています。

最後になりますが、今期、大岩ガバナー補佐にはクラブ運営について厳しくも優しくご指導いただきましたこと、改めて深く感謝申し上げます。



来訪の皆様



高畠会長同期幹事 西岡 晃様

幹事報告

1. 7月1日の旧ひな壇慰労夜間例会の出欠の回答がまだの方は回答をお願いいたします。
2. 年報の配付をいたします。
3. ロータリー財団より中山会員にマルチプル・ポール・ハリス・フェローの襟ピンが届いております。
4. 他クラブ週報を回覧いたします。



ポールハリスフェロー
中山会員



幹事報告

S.A.A.

大岩様：北RCさんが主管されているミニバスケットボール大会の実施にあたっては、大変お世話になりました。今日は南RCの岡崎さんと深美さんと共に出席させていただきました。一年間、大変お世話になりました。

県南16RC同期幹事の会「イヌドリ会一同」：高畠会長、一年間お疲れ様でした。我々同期幹事の中で今年度会長という重責を全うされた高畠さんの勇姿を一同で観にきました。例会閉会までかっこいい高畠会長を見守らせていただきます。

岡山南RC 深美様：岡山北ロータリークラブの皆さま、本日はお世話になります。高畠会長一年間お疲れ様でした。

高畠君：山本武彦先生、いつも一番に会場に来て週報や配布物をレターボックスに入れて頂き有難うございます。

皆様、一年間たいへんお世話になりました。

上野山君：本日、退任あいさつさせていただきます。

砂田君：本日退任挨拶をさせていただきます。一年間お世話になりました。

宮井君：大岩ガバナー補佐、高畠会長の同期幹事の皆さまの訪問を歓迎いたします。

1年間つたない司会をさせていただきありがとうございました。

山本(武)君：高畠会長年度のひな壇の皆さんには色々御世話になり大変ありがとうございました。

明日からの上野山組のひな壇の皆様には引きつづきよろしくをお願いします。

山本(和)君：高畠会長はじめ役員の皆様一年間ご苦勞様でした。

伊藤君：高畠会長はじめひな壇の皆様一年間ごくろうさまでした。

大岩ガバナー補佐一年間ありがとうございました。

磯島(芳)君：1年間お世話になりました。

米林君：執行部の皆様には一年間本当にお疲れ様でした。

角南君：高畠会長、砂田幹事、ひな壇の皆様、一年間お疲れ様でした。お世話になりました。

大岩ガバナー補佐のご来訪に感謝いたします。

廣野君：高畠会長をはじめひな壇の皆様お世話になりました。(本日、都合により欠席します)

高橋君：大岩ガバナー補佐、同期幹事の皆様の来訪に感謝致します。

高畠会長をはじめとします、ひな壇の皆様、一年間おつかれ様でした。

杉本君：1年間お世話になりました。

永山君：大岩ガバナー補佐、高畠会長を始めとする、ひな壇のみなさま一年間大変お疲れさまでした。

中山君：高畠会長はじめ、ひな壇の皆様一年間お疲れさまでした。お世話になりました。ありがとうございました。

また最終例会までチケット残してしまいました。

妹尾君：高畠会長はじめひな壇のみな様一年間お疲れさまでした。

杉山君：一年間、なんとか無事に終えることができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。親睦活動委員会一同

堀川君：今季もありがとうございました。世界大会をはじめ初体験をたくさんさせて頂きました。

磯島(慈)君：本年は、お札を例会場に置いて下さりありがとうございました。皆様一年間、スマイルに心温かくご協力をいただきありがとうございました。

三宅君：皆様一年間お世話になりました。本日おかげをもちまして201,000円の浄財が集まりました。来週からも同じようにお願い致します。



出席報告



スマイル報告



あっという間の一年を経て、とうとうこの日を迎えました。

振り返ると数多くのエピソードがあり、一つ一つを語り尽くすことはできませんので、まずは皆様への感謝を申し上げます。

毎週の例会にご参加いただいた皆様、そして毎回の出席の呼びかけにご尽力いただいた牧本出席委員長に心より感謝申し上げます。また、例会にはやむを得ず参加できなくとも、奉仕活動へのご参加や会費・寄付にご協力いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

一年間、誰一人欠けることなく今日を迎えられたのは、馬場会員増強退会防止委員長のご尽力と、皆様のご協力があってこそのことと思っております。

常任委員長をお引き受けいただき、委員の皆様と共に会を運営してくださった皆様にも深く感謝申し上げます。

ここで、一年を振り返り、ロータリーでの「人のご縁」についてお話しさせていただきます。

本日お越しいただいている南クラブの深美さんとは、大学卒業後に新卒で入社した安田火災での同期というご縁があります。3年半席を並べ、東京や箱根での研修を幾度も共にした仲ですが、一昨年のIM（インターシティミーティング）の宴席で偶然席が近くなり、昔話や近況を語り合いました。

当時私は、長年「世のため人のため」と保険の仕事に邁進する中で、経営者の方々と接する機会は多いものの、「会社の従業員の皆様に本当に幸せにできているだろうか」と思い悩んでおりました。そんな折、深美さんから確定拠出年金（DC）のお話を伺ったのです。

アメリカでは1980年代から401(k)（確定拠出年金）が普及し、普通の会社員や公務員が長期的な投資と複利運用によって十分な資産を築いています。一方、日本でも2001年に日本版401kが始まりましたが、中小企業での導入率は未だ2%にとどまり、十分な金融教育が行き届いていないのが現状です。

経営者自身は資産運用ができていても、従業員にまで浸透していない現状を変えるべく、私は現在、懇意にいただいている企業様にお声がけをし、制度導入のご案内と全従業員様への個人面談をすすめております。

今後は、自社の顧客だけではなくロータリークラブでのご縁を頂いた方々にもお声がけして一緒にこの問題を考えていけたら良いなと思い伝えさせて頂きました。

最後に、率直な今の気持ちを申し上げますと、とても楽しい一年でした。そして、やり遂げたというよりも、今日までにいただいたご縁を通じて「これからが本当のお付き合いの始まり」なのだと感じております。仕事を通じて稼ぎ、ロータリーの奉仕を通じて還元する。これこそがロータリーの目的そのものです。

例会運営には毎回突然の私のリクエストに応じて頂き、自由な私を支えてくださった上野山副会長、砂田幹事、宮井副幹事、三宅S. A. A.、磯島副S. A. A. はじめとするひな壇の皆様、そして委員会の皆様には、大変ご苦勞をおかけしました。私をご支援いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

これからもロータリアンであることに誇りを持ち、奉仕の理想が実現できるよう尽力してまいります。一年間、本当にありがとうございました。



ひな壇の皆さんと

「幹事退任あいさつ」

幹事 砂 田 信 義 会 員



本年度幹事を務めさせていただきました砂田でございます。

本日は、退任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

この一年間、歴史と伝統ある岡山北クラブの幹事という大役をお預かりし、身に余る光栄である一方、毎回緊張しながら務めてまいりました。例会運営や理事会、各種行事への対応など、初めて経験することも多く戸惑いながらのスタートでしたが、高畠会長はじめ理事・役員の皆さま、そして会員皆様のお力添えにより、無事に一年を終えることが出来ました。

最初の例会が令和7年7月1日（火）通算2643回、最後が本日令和8年6月30日通算2678回です。年度のスタートの日とラストの日の両日に例会をすることが出来てよかったと思っています。そして、入会して14年目ですが今年度初めて100%出席することが出来ました。幹事は100%出席するのは当然ですけれど、今年度は当初から高畠会長が2月3月は繁忙期のため例会取り消し多めにとご配慮を頂いたのは非常に助かりました。2015-2016年の安原会長年度の副S. A. A. の時も100%を目指しましたが確定申告時の3月に一度欠席して100%出席が出来ませんでした。たしかその頃は100%出席の集計が1月から12月だったように思います。なので目指す期間を間違えていましたので3月に出席していたとしても100%出席にはなりません。ちなみにその時のS. A. A. は今年度会長の高畠会長でした。

今年度のスタート前には、S. A. A. をお願いし総会でのご承認を頂いていた皆木会員より急遽S. A. A. の辞退の申し入れがあり、即座に後任を人選し臨時総会を開催し承認を得なければという事態となりました。もともとの組織編成時にも悪戦苦闘しましたので、後任を誰にお願いするかと頭を悩ませました。ここで頭に浮かんだのが委員長職をお願いし断られていた三宅浩司会員です。三宅会員とは、2021-2022年の杉本会長年度時に私がS. A. A. を任されたときに副S. A. A. として助けて頂きましたし、経験もあるので三宅会員しか適任者はいないと直ぐに電話をし、お願いをしました。三宅会員から快諾を頂き、令和7年3月18日の臨時総会で承認を得ることが出来、やっと体制が整いました。三宅会員本当にありがとうございました。

今年度のミニバスケットボール大会は第20回を記念して、第2690地区第10グループの共催事業として「インパクトのある青少年事業」として開催されました。そのため新年度が始まる前から廣野



ミニバスケットボール大会開会式



御津会場 ポリオPRブース

常任委員長、戸川青少年奉仕委員長には十数回におよぶ打合せ・各クラブ等との調整にご尽力頂き素晴らしい大会となりました。また、2日間の大会には第10グループの各クラブの会長様をはじめ多くの会員の方にご参加いただきありがとうございました。特に戸川青少年奉仕委員長には、委員長をお願いした時には「ミニバスケットでそんなに負担にはならないのでお願いします」とお願いしたのに降って湧いた話でこんなに大変な事業となって申し訳なかったです。でも戸川青少年奉仕委員長だったから出来たと思います。本当にありがとうございました。

毎回の例会では、9/16の第10例会にはオブザーバーとして15名の方にご参加いただきました。出席会員が30名でしたので、総勢45名となり、3分の1がオブザーバー参加となり多少の違和感はありましたが、とは言えこれぐらいの人数が例会場いると緊張感があるというか活気がある様に感じましたので、例会には多くの会員に出席していただきたいです。そして、この時のオブザーバー参加されてい

た一人が吉岡会員で、2ヶ月後の11月にご入会して頂きました。吉岡会員、入会していただき本当にありがとうございました。

また、6/9の第34例会にはビジターとしてフロリダロータリークラブからカルメン オルティーズ様、トーマス ブッチャー様にお越しいただきました。私もロータリーに入会して10年以上経ちますが海外からのビジターは初めてで戸惑いました。高島会長は流石です。臆することなく挨拶をし会話をされていました。私は語学が堪能ではないので、例会中は山本和秀会員には英語で対応して頂きありがとうございました。

例会時の食事ですが、昨年7月から値上げ、そして請求の仕方が変更になりました。従来は食べた食事の数だけの請求でしたが、今年度からは例会の前の週の金曜日までに出席人数を連絡しその数での請求になりました。出席人数を集計するため会員の皆様に出欠確認の連絡を頂いて集計しホテルに連絡しています。これは食品ロス削減、経費削減になり良いことだと思います。ただ出欠確認の返信をなかなか全員の方から頂いていません。そのため返信のない方については事務局の長田さんが過去の出席状況等により出欠の予測・判断をして頂いて連絡しています。そのため、例会当日に急なビジターの来訪、欠席予定あるいは欠席見込みの方の参加があると、席や食事の数が足りるかどうか、追加するかどうかを斎藤さんと毎回ひやひやしていました。出席者が増えることは良いことですが、食事開始後5分程度は食べずに状況を見ながら、足りそうだったら食事を始め、足らなかったら自分の分をまわすという事が数回ありました。私も今までは返信を確実にしていたかと言うと正直していません。これからは確実に返信するよう心掛けます。皆さんもよろしくお願いします。

一年間幹事の役職を終えたら体重がおちてウエストも細くなるかなと思っていましたが、先日の健康診断の結果ではウエストは2センチ細くなっていましたが体重は変わらず90kgでした。幹事の仕事は地味で気苦労もありますが、6ロータリークラブ幹事会や県南16ロータリークラブ幹事会では新しい出会いがあり楽しむこともできました。また、その場で他クラブの活動報告等を聞き、奉仕活動や例会のやり方等を勉強できる機会もいただきました。ただ、それをなかなか活かすことが出来なかったこともあり今年度の例会出席率は前半こそ60%台でしたが中盤以降は50%台、40%台とかなり低くなってしまったのは反省点です。

私自身、不行き届きな点も多々あり、皆さまにはご迷惑やご心配をおかけしたと思います。それでも温かく支えてくださり、「大丈夫だよ」「気にしないで」と声をかけてくださったお一人おひとりに、改めて御礼申し上げます。

「ロータリーは人なり」という言葉のとおり、人と人のつながりの大切さを、幹事という立場から強く感じた1年でございました。

明日からは、磯島幹事にバトンを引き継ぐこととなります。

無理をせず、仲間を頼りながら、この一年を楽しく過ごしていただき、磯島幹事らしい新しい色を出していただけることを期待しております。

結びになりますが、この一年間ご支援とご協力を頂きました会員の皆さま、事務局の長田さん、高島会長をはじめひな壇の皆さんに御礼を申し上げ、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。



「退任挨拶」

副会長 上野山

剛 会員



今年度、副会長という重要な役職を任され、その役目を十分に果たせたかどうかはわかりませんが、今年度を振り返って退任挨拶をさせていただきます。

就任挨拶でお話ししたことになりますが、ロータリー用語便覧には「副会長は会長により要請された任務を遂行する」とありました。

一番気になっていたのが、会長の代役となることです。高畠会長は今年度、走ることを控えられていたのだと思いますが、怪我することなく無事に1年間を乗り切ってください、良かったです。

クラブ管理運営常任委員会の委員長を任されていますが、クラブ管理運営常任委員会下の親睦活動委員会、出席委員会、プログラム委員会の各委員長及び委員の皆様ありがとうございました。

杉山親睦活動委員長には親睦行事の運営に大変感謝しております。

牧本出席委員長には出席勧奨、ありがとうございます。出席率の向上には来年度に引き継ぎ、頑張ります。

最後に米林プログラム委員長には、米林委員長の人脈を駆使してプログラムがされたこと感謝いたします。

このお三方がおられたことで、何事もなく当職を務めることができたことに改めて感謝します。

簡単にはなりますが、この1年間ありがとうございました。そして来年度もよろしくお願いいたします。



閉会挨拶



